

令和4年度

浜松市立犬居小学校

第3回 学校運営協議会



令和5年2月6日（月）13:55～

令和4年度 第3回 学校運営協議会

浜松市立犬居小学校

< 日程及び内容 >

1 授業参観（13：55～14：25）

- 子供たちの学習の状況など

2 協議（14：30～15：45） 多目的ルーム

- 令和4年度学校評価について
- 学校運営協議会評価について
- 令和5年度の学校運営について
- いじめ防止等のための基本的な方針について
- 子供たちの様子について
- その他

3 今後の予定について

◇授業参観会	2/17（金）
◇6年生を送る会	3/2（木）
◇卒業式	3/17（金）
◇春休み	3/18（土）～4/6（木）
◇離任式	3/24（金）
◇入学式・始業式	4/7（金）・4/6（木）

- 第1回学校運営協議会 4月 28日（金） 午後
授業参観
協議（組織作り、学校経営方針について）

*議事録を作成してホームページに掲載します。お名前が掲載される場合があります。御了承ください。

令和4年度 犬居小学校 学校運営協議会 委員名簿

	氏 名		
1	渡辺 新五	元中学校長	会長
2	木下 俊弘	民生委員・児童委員	
3	中村 裕樹	犬居小PTA会長	副会長
4	乙部 邦子	元児童養護施設すみれ寮施設長	
5	酒井 まち子	元幼稚園園長	
6	山下 尚美	読み聞かせボランティア代表	学校支援CD

メモ

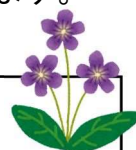
令和4年度 学校教育アンケート分析結果

浜松市立犬居小学校

「ゆめに向かって がんばる子」

この学校教育目標の達成をめざし、今年度の教育活動を進めてきました。活動を振り返り、次年度に生かすために、学校がめざす子供の姿に沿って質問を作成し、児童・保護者・教員に対してアンケート調査を行いました。アンケート結果から分かる、本年度の犬居小の様子と今後に向けた考察をお伝えします。

なお、今回、児童・保護者・職員からの回答の「とてもそう思う」「まあそう思う」を合わせた割合が全て9割以上のものを太字で、8割未満があるものを斜体で示してあります。

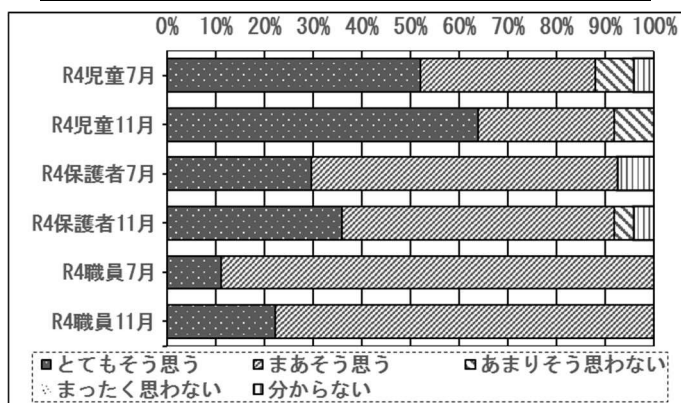


「やさしい子」

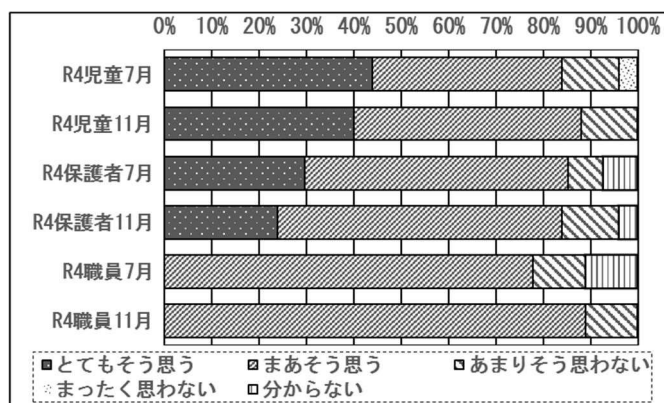
<夢と希望をもって生活し、自他のよさに気づき、相手の立場になって考えた言動ができる子供>

★★★★★ 「やさしい子」アンケート結果 ★★★★★

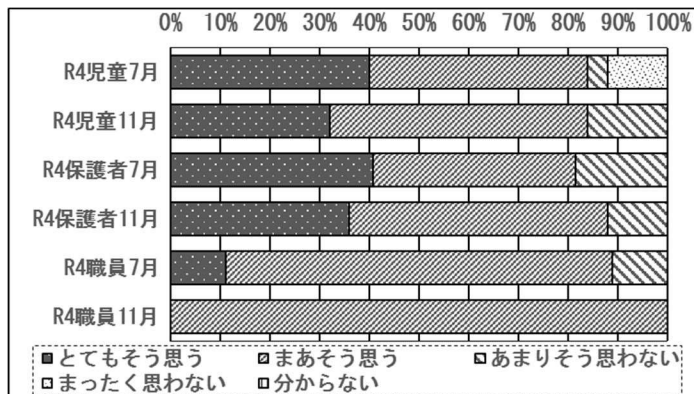
【1. 先生は自分のことを分かってくれる】



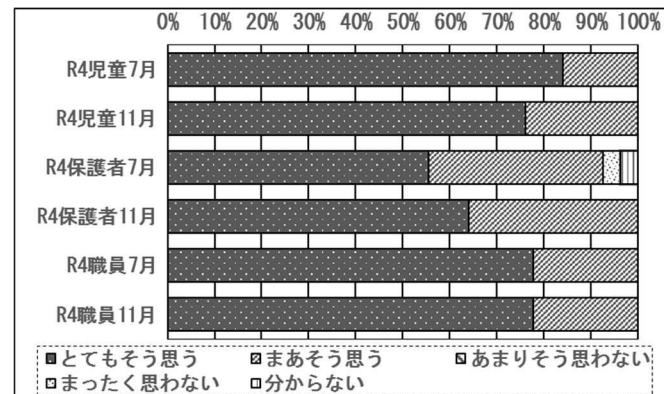
【2. 友達と上手に関わることができる】



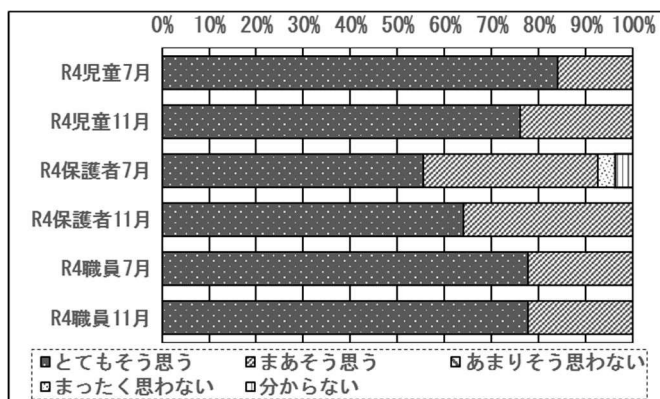
【3. 自分のよいところを言うことができる】



【4. 地域（春野・犬居）を大切に感じている】



【5. 思いやりや感謝の気持ちが育っている】



【アンケートより】

「やさしい子」については、肯定的な回答が90%以上になっている項目が多くありました。「4. 地域（春野・犬居）を大切に感じている」「5. 思いやりや感謝の気持ちが育っている」の2つは、児童・教師・保護者とも100%という結果でした。また、「1. 先生は自分のことを分かってくれる」では、児童の肯定的な回答が上昇し、90%以上となりました。

ただ、「2. 友達と上手に関わることができる」「3. 自分のよいことを言うことができる」の項目については、児童、保護者、教員とも肯定的な回答が80%前後となりました。肯定的な回答の上昇が見られていますが、児童の「とてもそう思う」の回答は減少しました。

【考察】

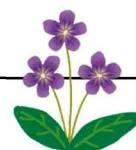
小規模校だからこそ「全職員が児童一人一人の担任」となり、児童を誉めたり認めたりする声掛けを行ってきた結果が、児童の「自分のことを分かってくれる」気持ちにつながったのだと考えています。

また、本校では、年間を通して、総合的な学習の時間や生活科、体験活動等を通して、地域の方とふれあいながら「春野・犬居地区を題材とした学び」を行っています。継続的な地域に関わる学びが、地域を大切に作る心を育てることにつながったのだと考えられます。さらに、地域の方々に関わることによって、思いやりや感謝の気持ちが育まれてきているのだと考えられます。

ただ、友達と関わることや自分のよさを見付けることについては、コミュニケーション能力はもとより、他人だけでなく自分のよさも言える自己肯定感、人の役に立っていると感じる自己有用感をさらに伸ばしていくことを通して、育てていきたいと考えています。

引き続き、職員が児童一人一人に心を配り、養護教諭やスクールカウンセラー等の活用も含めた相談体制を整え、だれもが安心して学校生活が送れるよう努めていきます。

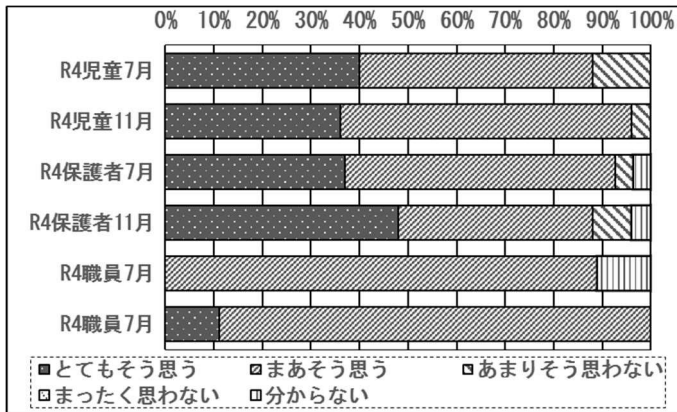
「かしこい子」



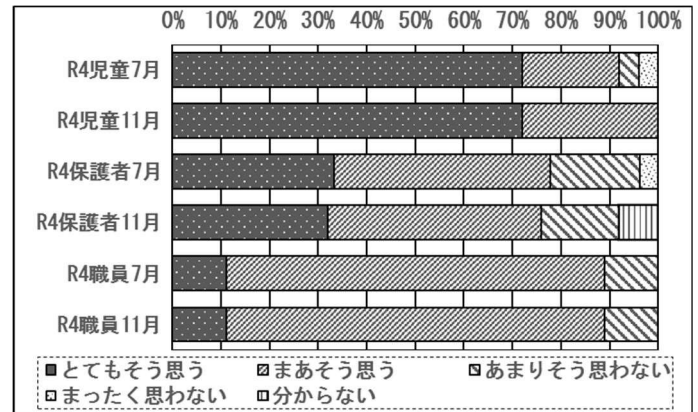
<自分の課題に気づき、計画的に学び、学んだことを様々な場面で生かしていくことができる子供>

★★★★★「かしこい子」アンケート結果 ★★★★★

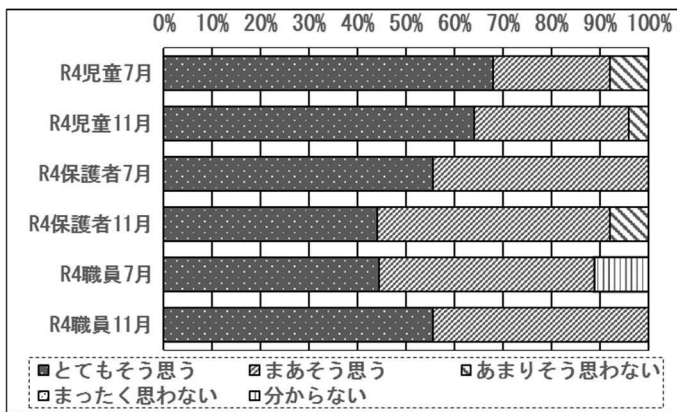
【6. 学習内容がよく分かる】



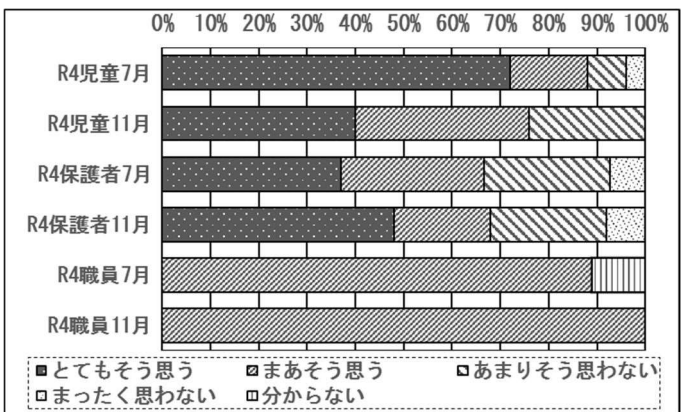
【7. 目標に向かって学習している】



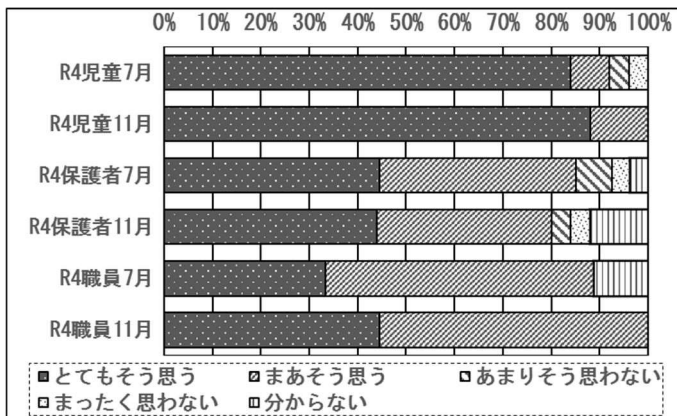
【8. 地域を通して学びを深めている】



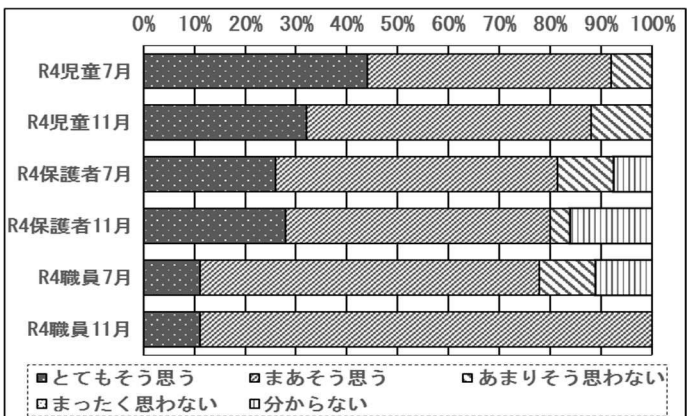
【9. 本を読むことが好き】



【10. タブレット等を使って学習している】



【11. 友達の意見を聞いたり、自分の考えを伝えたりすることができる】



【アンケートより】

「8. 地域を通して学習を深めている」の肯定的な回答が9割を超えました。

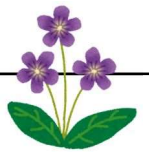
「6. 学習内容がよく分かる」「7. 目標に向かって学習している」については、児童の肯定的な回答の上昇が見られましたが、保護者の肯定的な回答は減少しています。特に、「7. 目標に向かって学習している」については、児童と保護者との差が顕著になっています。

「9. 本を読むことが好き」については、児童の肯定的な回答が減少し、保護者・職員からの肯定的な評価は微増し、7月からの変化が見られました。

【考察】

社会情勢が急激に変わっている今、児童が自ら課題を見付け、計画的に学んでいく「主体的に学ぶ」ことが求められています。本校では、学習を通して、目標に向かって学習する姿が、学校目標である「ゆめに向かって がんばる子」であることを伝え、自分の学びの様子を振り返り、見直す場を取り入れてきました。その結果、児童は学習の目標を達成できたという充実感を味わうことができました。しかし、「主体的に学ぶ」力は、一朝一夕につけることが難しい力です。来年度も意識して取りくんでいきます。また、学習の様子やつきたい力など本校の取組について、保護者の方々へ積極的に伝えていきます。

また、読書については、ドラゴンブックという良本の選定や読書賞の賞揚、ビブリオバトルや委員会による読書イベント等数多くの取組を行っています。その様子をブログ等で保護者の方々にも伝えていきたいと思えます。

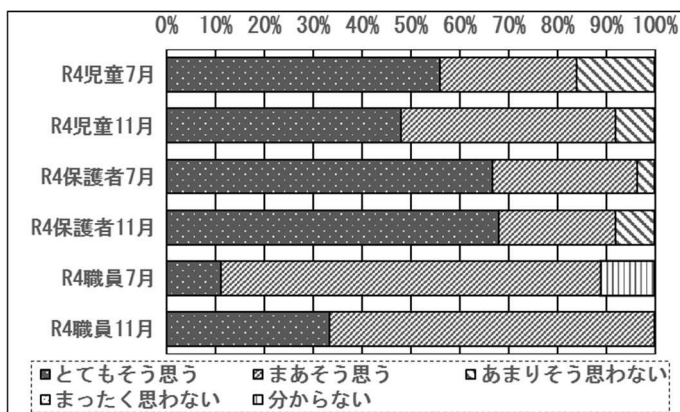


「たくましい子」

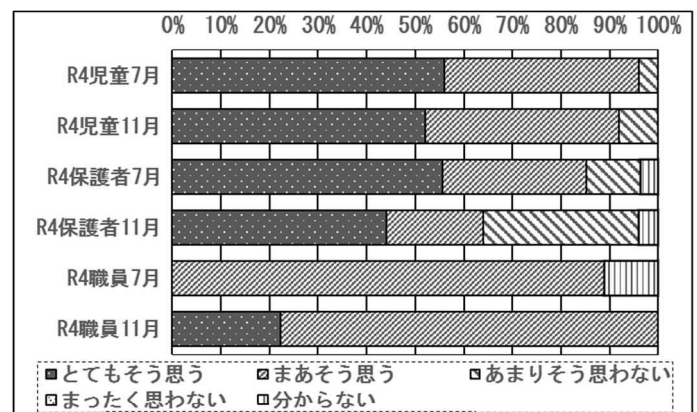
＜自分の健康や体力、安全について理解すると共に、めあてをもって努力し、あきらめずに最後までやり抜く子供＞

★★★★★「たくましい子」アンケート結果 ★★★★★

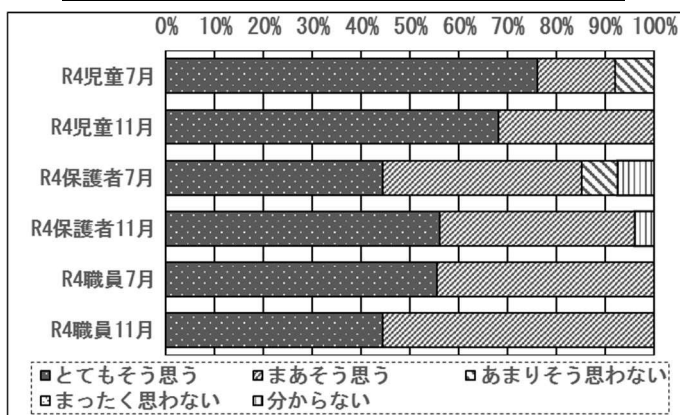
【12. 早寝・早起き・朝ご飯ができる】



【13. 目標に向かって運動している】



【14. きまりを守り、安全に生活する】



【アンケートより】

「12. 早寝・早起き・朝ご飯ができる」は、児童の肯定的な回答が上昇しました。

その反面、「13. 目標に向かって運動している」については、保護者の肯定的な回答の割合が減りました。児童との回答の差が大きく見られます。

【考察】

感染症対策が求められる状況の中、栄養と休養をとり健康的な生活を児童が送れるよう、家庭で声掛けをしていただいたことが、規則正しい生活習慣の定着につながりました。

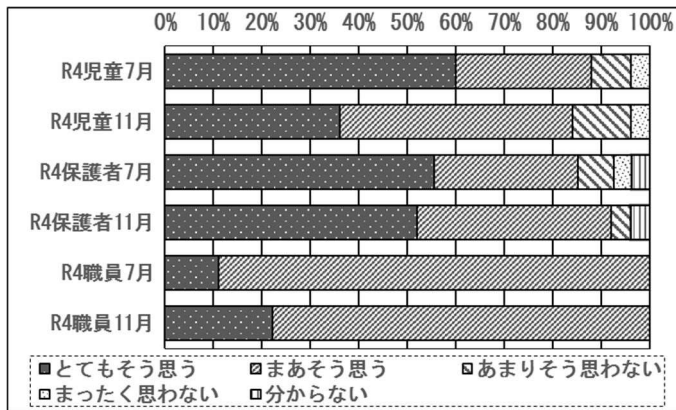
また、地域・保護者の方々に毎日登下校時の児童の安全を見守っていただいています。児童が安全に登校し、学校生活を送ることができるのも皆様のおかげです。ありがとうございました。

体育的な行事については、始めや終わりの会において、児童のめあて・感想発表をしてきました。これは、一人一人の児童が、自分の目標に向かって学んできた姿をお伝えするためでもあります。今後は、一人一人に合わせた目標の設定とともに、目標に向かって努力する姿がさらに見られるよう、支援をしていきたいと思えます。

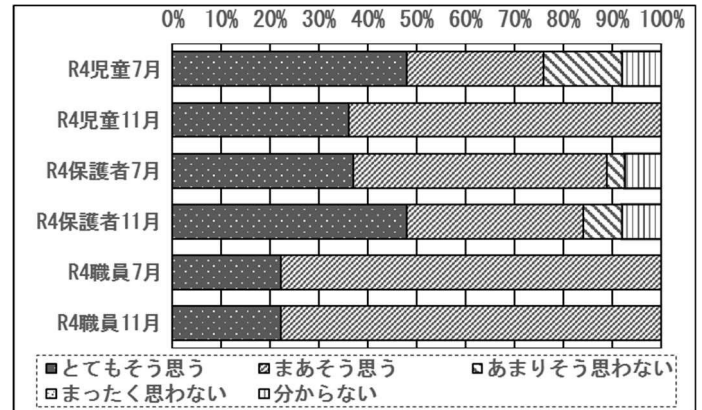
◆その他

★★★★★ 「その他」アンケート結果 ★★★★★

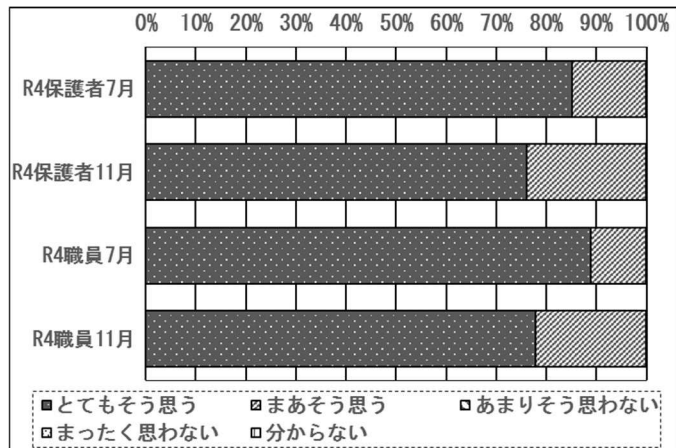
【15. 学校が楽しい】



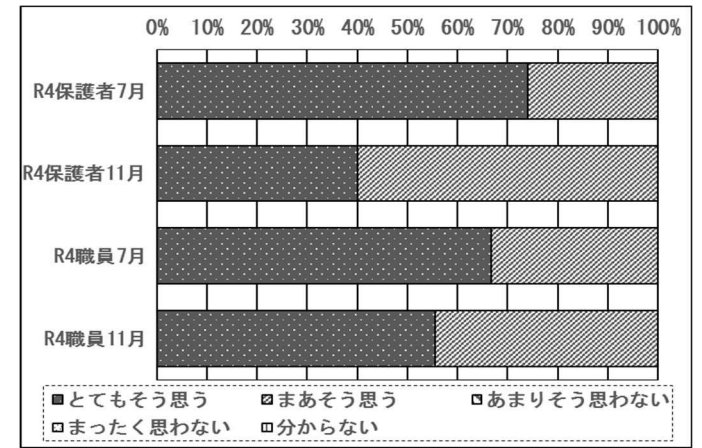
【16. 「つ」「や」「み」の力がついている】



【17. 学校は情報発信をしている】



【18. 学校は家庭・地域と連携している】



【アンケートから】

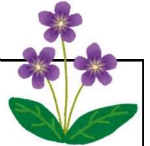
「17. 学校は情報発信をしている」「18. 学校は家庭・地域と連携している」については、今回も肯定の回答が100%となりました。

「16. 「つ」「や」「み」の力がついている」については、児童の肯定的な回答が急増し100%となりました。職員も同様に100%となっています。

【考察】

情報発信、家庭との連携について、今年度も肯定的な意見をいただきました。今後も、学級だより、学校だより、学校ホームページ、ブログ等の様々な媒体を通して、学校や児童の様子が分かる情報を提供していきたいと考えています。

また、キャリア教育によって、児童に「夢や希望をもって未来を切り拓いていくことができる力」を育てるために、「つたえる」「やりきる」「みとおす」力が必要であることを、児童に伝えてきました。そのことが、キャリア教育が自分にとって必要だと実感できたのだと思います。また、総合的な学習で行っている犬居・春野地域の発展のために自分たちに何ができるのかを考えることも、キャリア教育の一環となります。未来を担う児童が地域のことを真剣に考える場を今後も設定していきます。



総括

以上のアンケート結果から、「学校が楽しい」という充実感を児童が感じられるのは、小規模校の良さを十分に生かして、個に応じた学習指導を充実させることによって、児童一人一人が日々の授業をしっかりと理解できていたり、自分たちのことを分かってくれる大人に囲まれ、きまりを守って安全な学校生活をを送ることができたりしているからではないかと考えられます。また、地域での学びが児童の春野・犬居地区への愛着を深めることにつながったことがよく分かる結果となりました。

今後、児童の犬居小学校での学校生活がさらに充実するよう、自己肯定感や自己有用感をさらに高めていきたいと思えます。また、学習でも運動でも目標に向かっていく姿を保護者の方々に伝えていこうと思えます。

全ての児童が「ゆめに向かって がんばる子」となるよう、「チーム犬居」として保護者、地域の方と連携を密にし、今後も学校の運営に取り組んでいきます。よろしくお願いいたします。

保護者意見集約

○毎日楽しく登校し、学校であった出来事を楽しそうに報告してくれます。ただ、毎朝6時台に家を出て、日によっては4時半近くに帰宅し、宿題をしているのを見ると、だんだんと体力はついてきましたが、ハードだなあとは感じます。

○毎日いろんな事を学んでいて素晴らしいなと思えます。家族一同感謝の気持ちでいっぱいです。

○あいさつが目を合わせる子、下を向いてる子、全然しない子の差があると思えます。気持ちの良いあいさつができるといいです。

○いつも子供たちにご指導ありがとうございます。子供は最近、悩んでることが多くなりました。友達、兄弟、勉強(宿題)など成長の過程で必要なことだと思えますが、なかなか良い言葉をかけてあげられなくて、こちらも悩んでしまうことがあります。

○先生方の温かなご指導の下、本当に様々なことを体験させていただき、おかげさまで、充実した毎日を過ごしています。スクールバスの有効利用が進んで、もっと地域の人が学校に関われるようになっていたら、言うことなしです。

現在、学校評価の数値やアンケート結果をもとに、職員で協議しています。次年度も、地域を担う子供たちのための教育課程を作成していきたいと考えています。学校アンケートへの御協力、ありがとうございました。

(様式1)

令和4年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立犬居小学校運営協議会長

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- 「学校教育目標」「目指す子供像」を理解し、他の委員の考え方を聞き、新たに視野を広げることができた。
- 校長先生から今年度の方針の丁寧な説明があり、子供たちへの深い思いが伝わってきて心に響くものがあった。目標や目指す子供像の表記が具体的で理解しやすく、共有できた。
- グランドデザインをもとに基本方針について説明を受けた。目指す子供の姿や育てたい力など、具体的に協議することができた。
- 本校の教育目標達成に向けて、活動の詳細な設計がなされており、校長の熱意ある説明もあり、各委員の理解が深まったと思われる。
- 教育目標、目指す子どもの姿をわかりやすい言葉で表現され、校長の熱のある説明を受け、十分理解すると共に委員間でも目標や課題を共有することができた。
- 始めに校長先生から浜松市の目指す子供の姿、春野中学校区の目指す子供像と共に犬居小の学校教育目標、目指す子供の姿、学校や教職員の姿について丁寧に説明があり、理解を深めることができた。全ての委員が積極的に意見を述べやすい雰囲気もできていることが充実した熟議につながっていると思った。

<評価項目2> 学校運営に資する活動について熟議を進めることができたか。

- 地域、保護者に広く周知、参加する方策を考え、その取り組みを評価・検証できた。
- 3年目の委員が多く、協議会の雰囲気がなごやかで、わからないことを質問し、意見交換が活発にできた。熟議を円滑に進められた。(学校の雰囲気も良い)
- 児童が学校や地域の良さを深く知り、故郷を愛する心を育む活動の方向を共有することができた。今後も学校運営に保護者や地域がより支援できる方法を協議していきたい。オブザーバー参加の行政等の助言もいただき、確認の上で案件ごとの提案、審議、対処がなされたと思われる。
- 地域に在住しながらも、近所に子供たちの姿はなく、日々の学校の状況については、実感として受け止めきれず、申し訳ない思いである。協議会の雰囲気は良好で、学校、地域をよりよくしたいとの思いのもと、熟議されていた。
- 各委員がそれぞれの立場だからこそその視点で意見を出し合うことができ、考えを深めることができた。各会のテーマ等に沿って積極的に意見を出し合うことはできたが、日頃から学校からのニーズや課題の把握に努め、より充実した教育活動の力になれるようにしていきたいと思った。

＜評価項目3＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- 校長先生をもとに、全員で意見を出し合い、学校、家庭、地域で一緒に子供を育てていけるような仕組みづくりを目指す。
- 極小規模校の存続に向けて、学校、保護者、地域が一体となり、PRしていく努力をしていきたい(発信方法の検討)。
- 児童が学校や地域の良さを深く知り、故郷を愛する心を育む活動の方向を共有することができた。今後も学校運営に保護者や地域がより支援できる方法を協議していきたい。
- 前年の卒業生から託された「住もうよ春野！通おう犬居小へ！」のメッセージは一過性で終わらず、地域活動、行政的な事業として継続できる事案と思われる。本校の教育活動の一助となればと期待したい。
- コロナ禍にあっても、創意と工夫がなされた学校教育、行事が行われたと思う。コロナ収束を見通して地域の人（大人）との交流が増えることを期待する。例えば学びの場として、
 - ・地域ぐるみで漢字検定にチャレンジ・文学作品朗読会
 - ・地域参加型体験活動（夏季合宿、映画上映会等）ただ、成果を急がずあせらずできると良いと思う。
- 学校運営の基本方針について更に理解を深め、子供たちのよりよい教育や学校生活のために学校・保護者・地域との連携を深めていけるようにしたいと思う。

＜評価項目4＞ 協議会の運営や学校運営に資する活動について、保護者、地域と連携し協議することができたか。

- コロナ禍で活動が制限された中において保護者、地域と連携して協働することができた。
- 「住もうよ春野！通おう犬居小へ！」のチラシを委員が共通認識することができた。地域の事業所3カ所に趣旨説明し、来町者へ犬居小の取り組みの紹介を依頼することができた。小規模校の良さを生かし保護者や地域を巻き込んだ教育活動が十分にできている。今後も継続的に地域や協議会委員との協働をさらに充実するよう支援していきたい。
- コロナ禍で地域行事が中止または縮小となって久しい。学校の課題においても保護者及び本人との接点となる機会が減少しており、委員の立場から引き続き努力していきたい。
- 以前から学校と保護者、地域との連携はできていたと思いますが、より目的意識的に取り組まれるようになったと思う。
- 続くコロナ禍の中でも、いろいろな活動が再びできるようになり、保護者や地域の方に協力していただくことができた。来年度はもっと広くCSについて知っていただき、連携を深めていけたらと思う。